



どなたも楽しく、作るよろこびを 「押絵キット」人気デザイナーは元・洋画家！

～ 15cm四方に込める季節と想い ～

1977年創業の株式会社さくらほりきりは、和紙工芸や手芸キットを販売しています。企画やデザインも自社で行うことに重きを置き、これまで和紙工芸品などの箱ものや、布を扱った手芸キット、きめこみパッチワークなどの工芸と手芸を合わせたキットまで様々なキットを世に送り出してきました。その中でも人気商品は、作りながら季節を楽しめる「花歳時記」や「押絵ごよみ」といった伝統工芸「押絵」を元にした押絵キットです。これらの企画を発売当初から手掛けているのは、なんと元・洋画家！商品企画課・内田恵理子は、油絵を描いてきた経験から奥行や質感といったリアルさを大切にしながらもどなたでも楽しく作ることが出来るよう工夫を重ねています。彼女の尽力からこのほど、12枚の色紙で季節を楽しむ人気キット「押絵ごよみ」がより作りやすくリニューアルしました。今後も企業理念である手に取るすべてのお客様が作るよろこびを感じられる商品を社員一丸となって届けていきたいです。

【「さくらほりきり」のものづくりへの思い】

さくらほりきりは、堀切彌太郎(ほりきりやたろう)が1977年に創業。元々箱職人だった彌太郎は、オイルショック後の不況の際、「一般の方でも職人と同じような品質の箱が作れる仕組みが作れたら、新しいビジネスモデルになるのでは」と考えました。そこで生まれたのが、華やかな和紙に包まれた「小箱」や「小物入れ」など工芸寄りの商品。そこから次第に布を扱った手芸へと広がり、今では「きめこみパッチワーク」といった工芸と手芸とを合わせたキットまで手掛けています。どの商品にも「**キットを手に取るすべてのお客様に作るよろこびを届けたい**」という想いが込められており、創業時から

のファンや近年はご高齢のお客様にもご好評をいただいております。指先が動かしづらい方、お子様からお年寄りまですべてのお客様に楽しく作っていただくため、よりよい商品作りに邁進しております。



創業当初の商品「小箱」

【「押絵」キットのプロフェッショナル商品企画課・内田恵理子】



押絵キット「花歳時記」

伝統工芸「押絵」と聞くと、華やかな江戸押絵羽子板をイメージする方も多いと思います。職人の技を駆使して作るイメージのある「押絵」ですが、実は弊社の人気キットのひとつ。難易度の高そうな「押絵」をだれもが作るよろこびを感じながら挑戦できるキットの開発に貢献しているのが、商品企画課の内田恵理子(うちだ・えりこ)です。これまで300種類以上の企画を手掛けた内田は、誰よりもお客様の作るよろこびに貢献できるようこだわりにこだわりぬいています。



商品企画課 内田恵理子

● ひよんなことからはじまった押絵キットの自社製作

女子美術大学で油絵を学び、洋画を描いてきた内田。彼女の就職活動をしていた当時は就職氷河期真っただ中でした。商品企画を志して弊社にやってきた内田は、持っていた絵筆からこれまで一度も触れてこなかった和紙やちりめんにフィールドを変えてデザインをはじめました。

当時、歌舞伎や日本舞踊を元にした伝統的なモチーフを和紙で作る押絵キットを外注していた弊社の中で、**内田は身近にある民芸玩具や野菜や魚などこれまでにないモチーフを押絵で作る小さな根付を試作しました。**それを店頭飾ったところ問い合わせが殺到！すぐにでも商品化するようにと上司から言われました。発売を開始すると日々飛ぶように売れ、「ナスをください」とまるで八百屋のような注文をされていたという**笑い話も。**手ごたえを感じた内田は、これより小さな根付から大きな壁飾りまで押絵キットの自社制作を広げてきました。



内田の企画した押絵の野菜根付

● 洋画から得た着想、リアルと質感の追求

学生時代、洋画に情熱を燃やした内田は、押絵キットを作るうえでもその頃の経験をふんだんに生かして企画を進めます。例えば、モチーフの花ひとつとっても葉の葉脈など細かな部分も質感が出るように**自ら布地の図案をデザイン、さらにどのキットでも柄に個性差が生まれないようにし、紺屋と相談してようやく一枚の布地が出来上がります。**



葉脈を再現した染め

また、はじめのころは絵を描いてきたからこそ写実性にこだわり、押絵のパーツが多くなるという失敗もありましたが、逆に**絵を描いてきたからこそパーツを最低限にしつつ、モチーフをわかりやすく、奥行きのあるデザインにすることも出来ました。**

【 小さな色紙に季節を込める「押絵ごよみ」リニューアル 】

内田が中心となって製作してきた**押絵キット「押絵ごよみ」が今月1月にリニューアル**しました。毎月季節を感じられるモチーフを押絵で作るシリーズですが、この程、お客様がより手軽に、楽しみながら作ってもらえるような工夫を新たに加えました。これまで本来、職人さんが押絵の土台に綿で厚みを作り、布地を糊で貼っていくという一般の人では到底難しい工程をウレタンやシールを取り入れたキットで簡易化しておりましたが、今回は**色紙自体のサイズを一回り大きく、デザイン自体も風景を意識したより奥行きを感じさせるものにパワーアップ**しております。押絵を通して、今後も作るよろこびを皆様に伝えたいと思います。



内田がデザイン担当した5月の「押絵ごよみ」。兜と菖蒲とが窓辺にあり、奥行きを感じさせる一枚。



土台に粘着加工があるのでどなたも手軽に作れます。



従来品10cm×10cm(左)
新商品15cm×15cm(右)

【 会社概要 】マスコミの方の取材申し込みを随時受け付けております。お気軽にお問合せください。

- 名称 : 株式会社さくらほりきり
所在地 : 〒111-0052 東京都台東区柳橋 1-25-3
代表取締役 : 堀切俊雄
事業内容 : オリジナル手芸キットの企画・制作・販売

URL : <https://www.sakurahorikiri.co.jp/corp/>

【広報直通問い合わせ先】 担当: 広報 山村
電話: 090-9217-5941 FAX: 03-6368-3304 MAIL: j-ana@koho.pro